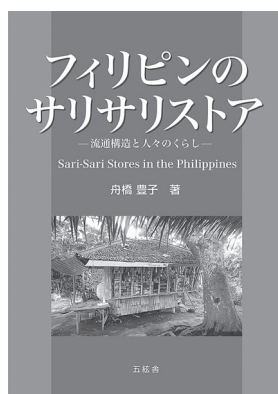


『フィリピンのサリサリストア—流通構造と人々の暮らし—』

舟橋豊子（五絃舎、2021年8月20日 第1刷発行）



本書は、2011年からフィリピンで200店舗余りの零細小売店サリサリストア（sari-sari store）を現地調査した内容を中心に、人々の暮らし、企業、財閥、流通、さらには貧困層をビジネス対象とした動きなどを現状に絡め、まとめたものである。そして、これまでの

研究史上、未着手の領域であったと思えるフィリピンの流通と市場、BOP層の購買力をBOP層の消費活動に大きな役割を果たしてきたサリサリストアを中心に解明した。

現在フィリピン市場において、従来のビジネスには取り込まれてこなかった貧困層が巨大な潜在市場として注目されている。詳しくいうと、所得層を構成する経済ピラミッドの下層を表す「BOP」は世界の総人口のうち約72%を占める約40億人に当たり、5兆米ドルにも上る有望市場である。

フィリピンは、都市部を中心に大きな経済発展をとげているが、地域ごとに大きな経済格差があり、近代的小売業と伝統的小売業が共存する多様な流通チャネルがみられる。そのような混沌とした変動期にあるフィリピンについて、流通チャネルにおける零細小売店サリサリストアの役割（流通とフィリピン市場への可能性）を解明することには意義がある。なぜなら、フィリピンの消費者はサリサリストア、市場、スーパーマーケット、コンビニエンス・ストア、チャイナタウン、露店、行商人等さまざまな所から商品を購入するが、よく利用されるのはサリサリストアだからである。フィリピン全土でみられるサリサリストアは、長年にわたり営業されている。加工食品や日用品の販売はもちろんのこと、携帯電話の充電、仕事情報なども提供する地域に根付いた「ご

近所のお店」である。仕入れ価格に1～2割程度の利益をのせて販売していることが多いため、スーパーマーケットよりも価格は高いが、たとえ高くても、多くの消費者は交通手段や運搬手段が少ないため歩いて行ける範囲にあるサリサリストアで購入している。サリサリストアでは販売方法や支払方法の工夫によって来店客の買い求めやすさを追求しているほか、企業の新商品を紹介する場所でもあり、人々の消費活動に大きな役割を果たしている。そして、生産者から消費者へ商品を届ける流通チャネルにおいても重要な役割をもっている。それはつまり、企業がサリサリストアを介した流通システムに注目し、サリサリストアで取り扱い可能な商品開発やマーケティング戦略をとることができれば、広範囲にわたって商品を流通することができ、シェア拡大につながることを意味する。

本書は、BOP層の購買行動において重要な役割を果たすサリサリストアを取り巻く流通構造を分析するとともに、フィリピン9地域のサリサリストア店主、来店客、サプライヤーなどサリサリストアに関わる人々へのインタビュー調査を通じてBOP層の消費行動を明らかにした。また、多国籍企業商品の需要や日常生活への浸透度、BOP層へのマーケティング手法も明らかにしている。個装の少量パッケージで販売することがBOP層に対する必要最低限の販売手法であり、柔軟な支払形態を整えるサリサリストアはその生活において不可欠な存在である。その意味でサリサリストアがBOP市場で果たす役割は大きい。これはBOP市場の成長を考察するうえで、サリサリストアとの協力関係を築くことが極めて重要になることを意味している。そして、企業がこのBOP層をビジネス対象とするには、まずBOP層の経済的に不安定な生活を考慮した支払条件を検討することが重要であり、地域の状況や商業慣習を熟知したうえでビジネスの方策を決めることが求められる。そのためにはBOP市場における流通や消費の実態を把握することが重要で、ローカルネットワークの活用が有効であ

る。サリサリストアを媒体として地元の人々の力を最大限に生かしながら市場へ参入し、現地の流通システムや人材を大いに活用することが企業の経済的成功に結びつき、現地のパートナーにとっても雇用機会を得ることができる。一方、多国籍企業はサリサリストアを通じた流通システムに着目して事業を進めるべきであるが、それはサリサリストアがBOP消費者のウォンツやマーケティング、地元の人々とのネットワークづくりに精通しているためである。また、それと同時にそのローカルシステムや人々の仕事を保全することも多国籍企業には求められる。

今後フィリピンの経済成長とともに都市部では近代的小売業は成長し、伝統的小売業は減少していくかもしれないが、都市部と比較して経済格差が大きく、インフラが不十分なフィリピンの山岳地帯や農漁村部では、近所にあり少量単位で買い求めることのできる伝統的小売業は存続していくのではないだろうか。このサリサリストアを研究することは、フィリピンのBOP市場における流通と消費の実態を解明し、今後のBOP市場への展開の展望への途を拓くものと考え、今後も研究を重ねていく。